

次期岐阜市GIGAスクール推進計画(案)

～教育の未来を切り拓くNEXT GIGAの姿～

令和7年 1月 27日

教育委員会事務局
GIGAスクール推進室

1 現計画の振り返り

2 次期計画の方針

3 各事業の推進方策

1 現計画の振り返り

2 次期計画の方針

3 各事業の推進方策

1 現計画の振り返り

岐阜市GIGAスクール推進計画

「デジタル・シティズンシップ教育」と「教育DX」の概念に基づき

5つの基本方針

① 誰一人取り残さない
個別最適・協働的な
学びの充実

② 教職員の
働き方改革

③ 児童生徒の
健康面の配慮

④ デジタル環境の
最適化

⑤ デジタル人材の
育成

オール岐阜市学校体制で計画的に推進

目指す姿

子どもたちが
予測不可能な未来社会を自立的に生きていくための
資質・能力の一層確実な育成

1 現計画の振り返り

① 学びの充実

岐阜市が目指す姿

《これまで》

《これから》

子どもたちが主体となる学び

子どもの
学び方

一斉教授型

個による探究型

インプット重視

アウトプット重視

教員の位置付け

Teaching

Coaching

デジタル

学びを効率化

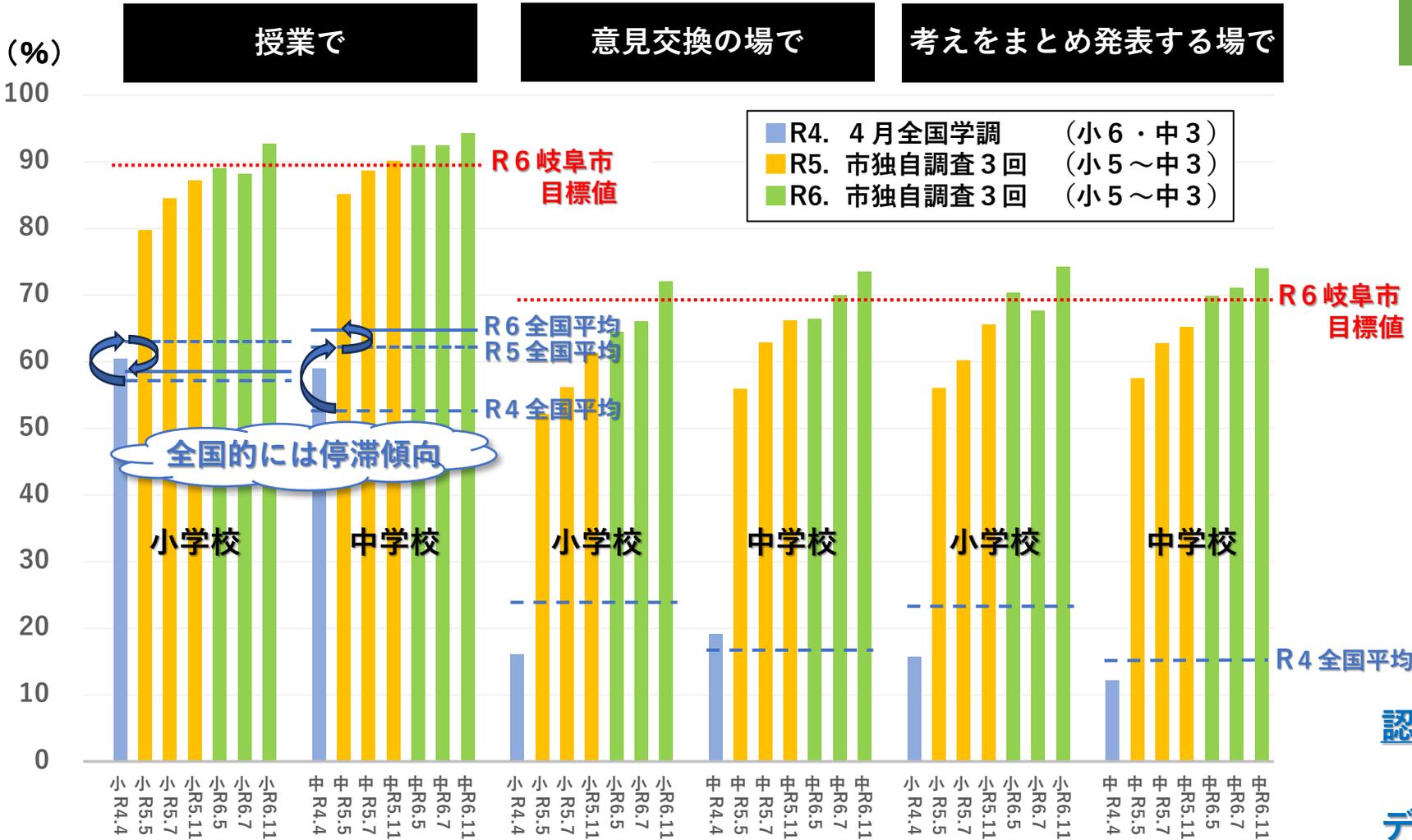
学びの成果を最大化

一斉授業からの脱却

1 現計画の振り返り

① 学びの充実

成果 「児童生徒」のデジタル活用状況（週3日以上利用の割合）



ロイロ認定自治体
 (全国2番目)



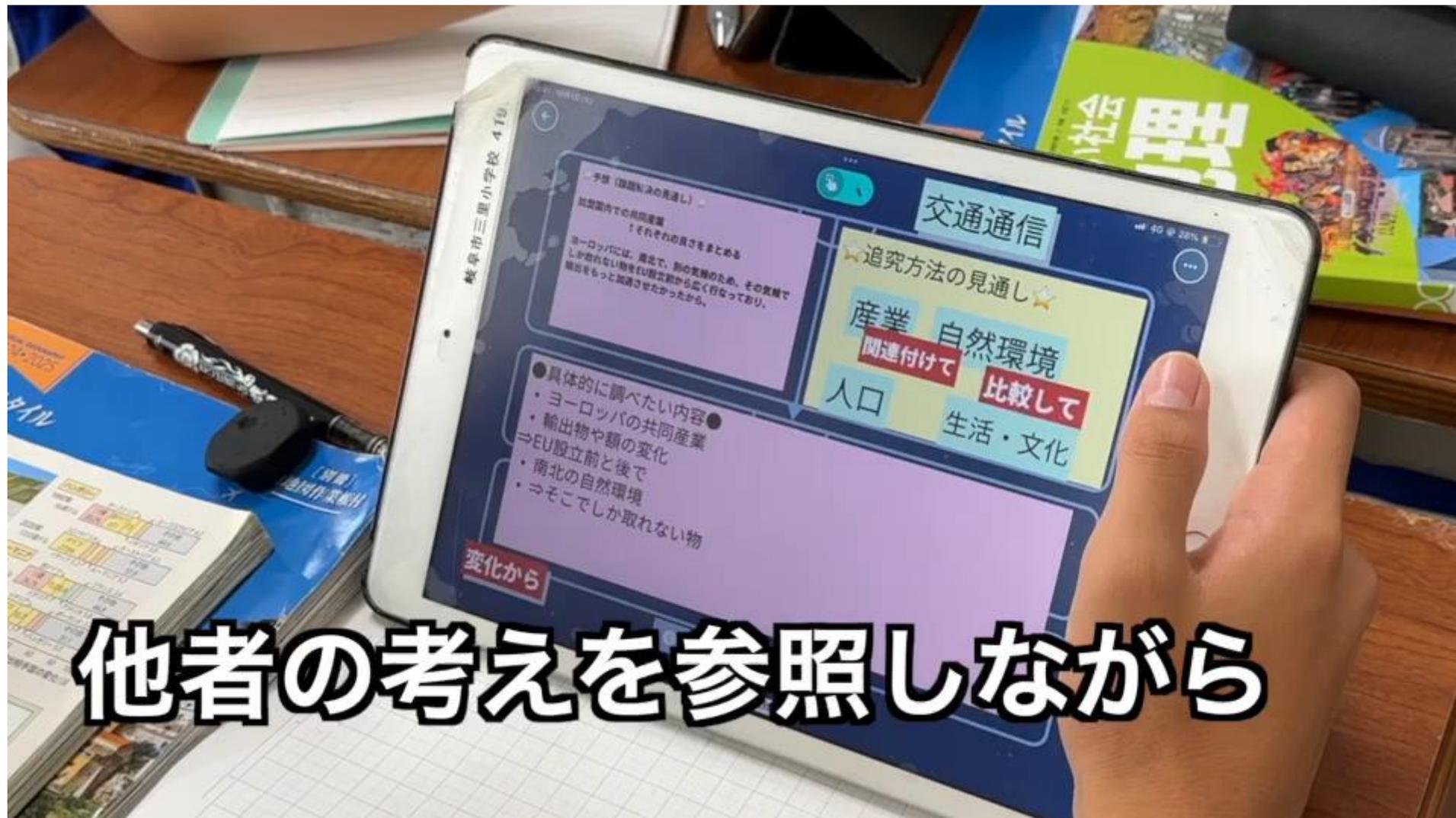
《R5年度》 《R6年度予定》
認定ティーチャー 57名 ⇒ 120名程度
 (6%)
デザイントレーナー 6名 ⇒ 12名程度
 (0.6%)

1 現計画の振り返り

① 学びの充実

実践事例

自分の考えを仲間と深める **多様な学び方**へ

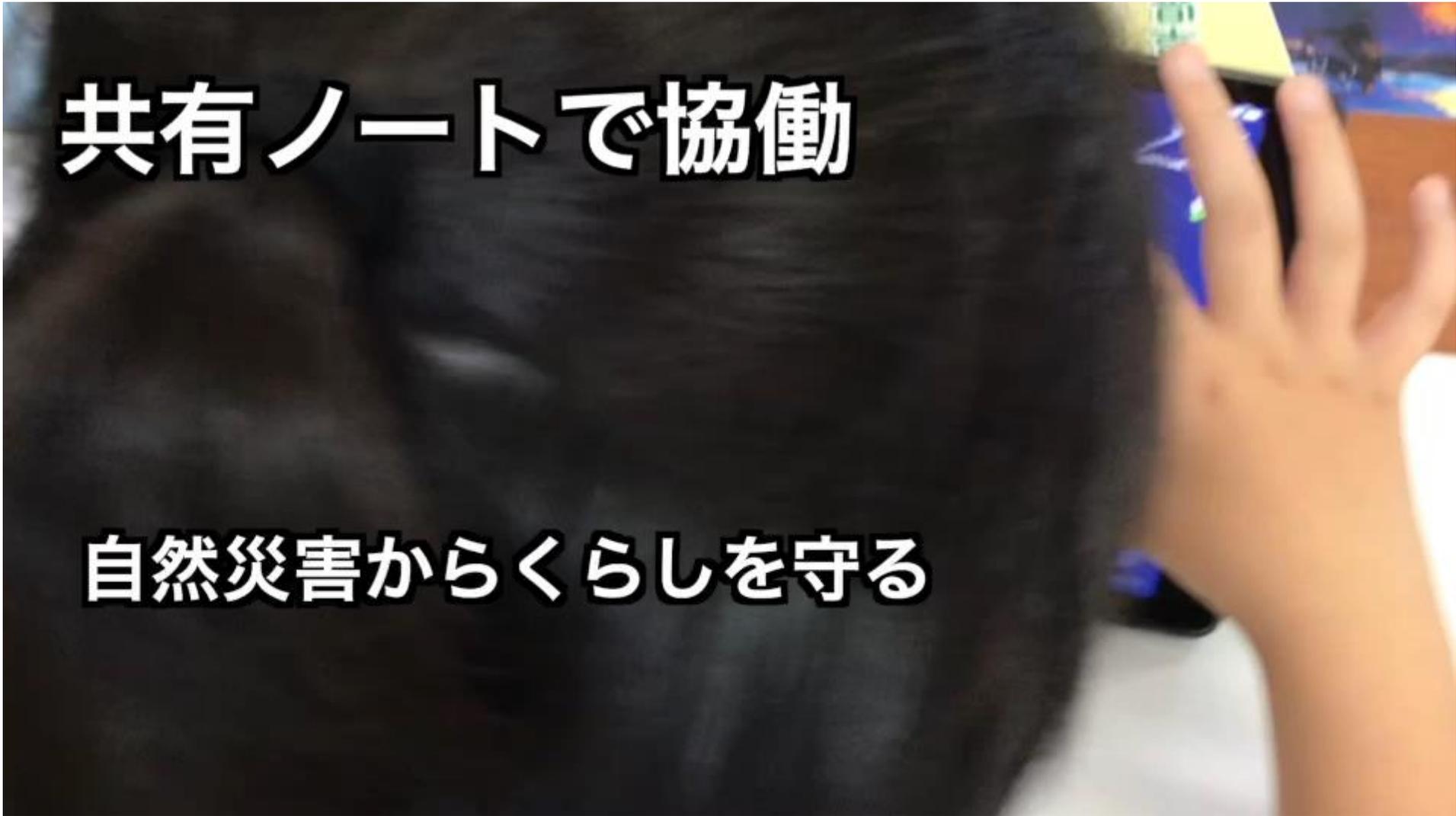


1 現計画の振り返り

① 学びの充実

実践事例

自分の考えを仲間と深める **多様な学び方**へ



共有ノートで協働

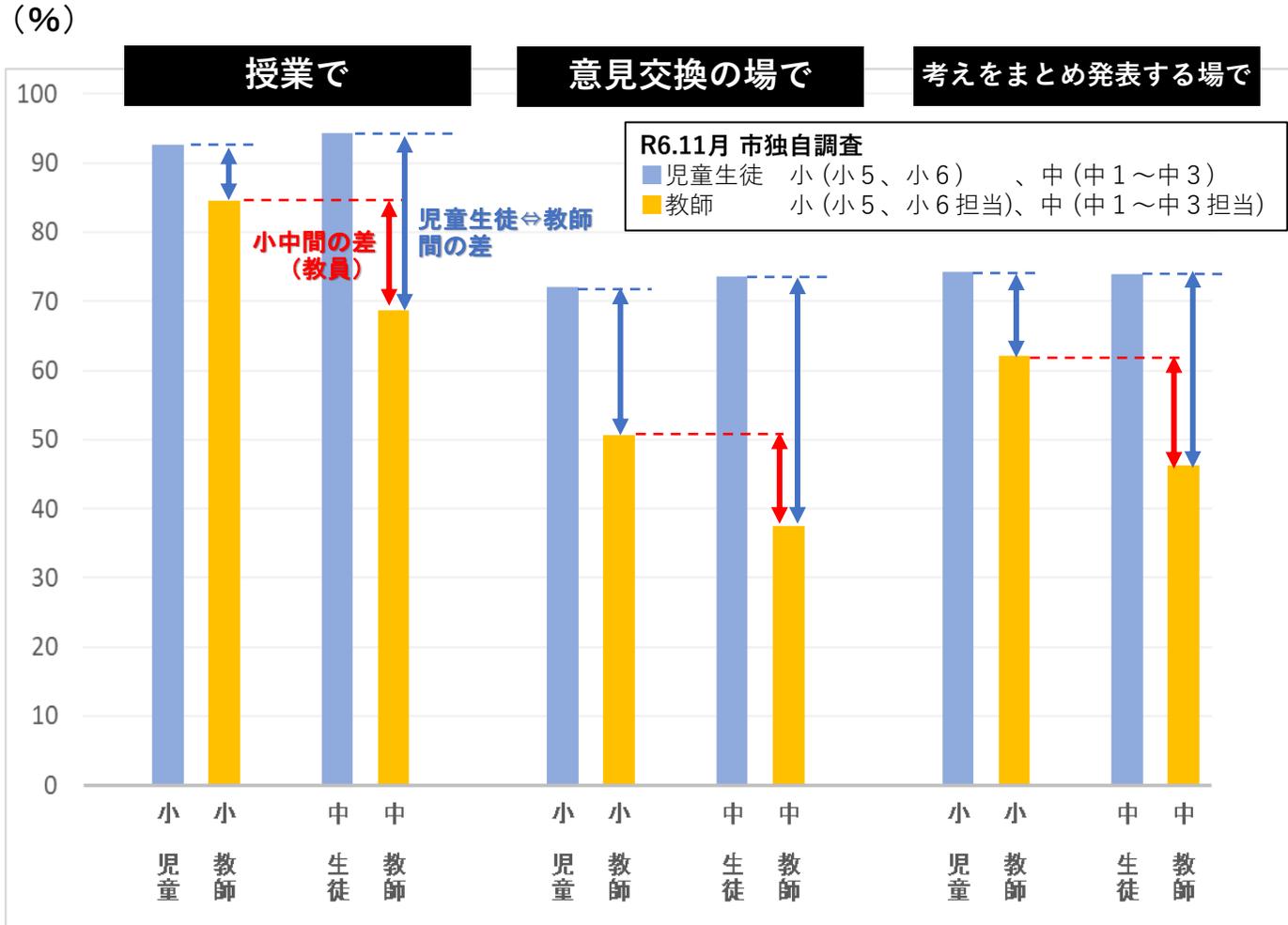
自然災害からくらしを守る

1 現計画の振り返り

① 学びの充実

課題分析 ～デジタル活用～

「児童生徒」と「教師」のデジタル活用状況（週3日以上利用の割合）



データから・・・

- ↔ 児童生徒 ⇔ 教師 … 乖離（中学校で大）
- ↔ 教員（小 ⇔ 中） … 小学校 > 中学校

学校訪問から・・・

- 小学校（クラス担任）… 学年で格差傾向
- 中学校（教科担任）… 教科で格差傾向
- 活用率が高い = OS改革ができていない

各校で意図的に
自校の実態に応じた改善が必要



教員間の学び合い

1 現計画の振り返り

① 学びの充実

課題分析 ～子どもが自ら求める探究的な学び～

R6.11月 市独自調査

■ 児童生徒 小(小5、小6) 、中(中1～中3)

■ 教師 小(小5、小6担当)、中(中1～中3担当)

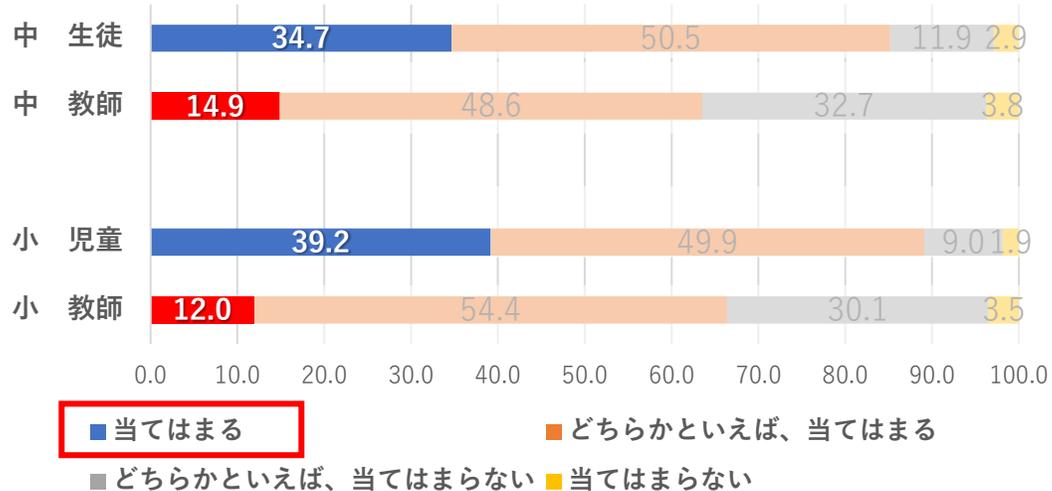
児童生徒の自己選択

- 授業で、課題、過程、形態を選択
- 自分に合った学びを求める

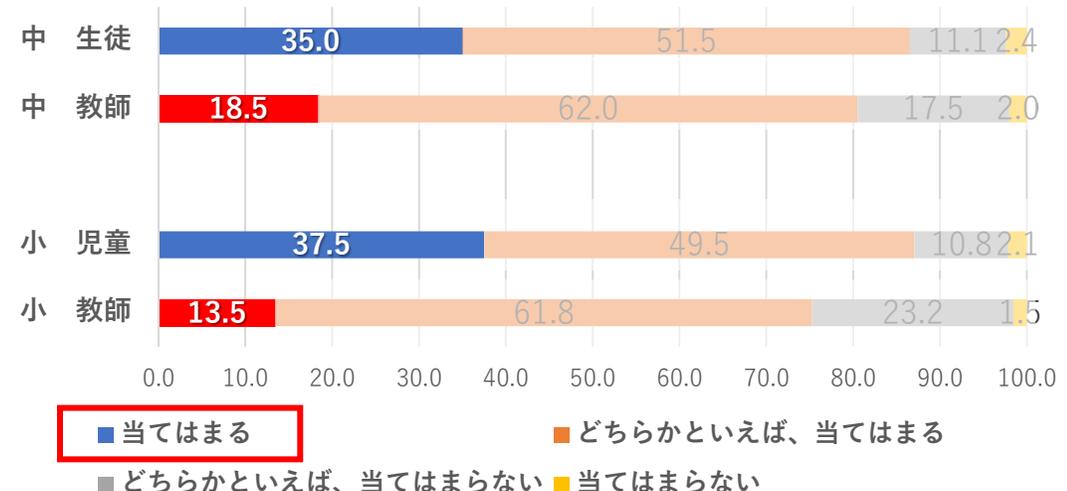
児童生徒の自己調整

- これまでの学びの俯瞰 → 現状を把握
- よりより学びを求める

児童生徒が「自己選択」できるような授業か



児童生徒が「自己調整」できるような授業か



目指す「授業のOS改革」の実現には **教師の授業改善が鍵**

1 現計画の振り返り

2 教職員の働き方改革

校務の様々な場面でデジタルを有効活用

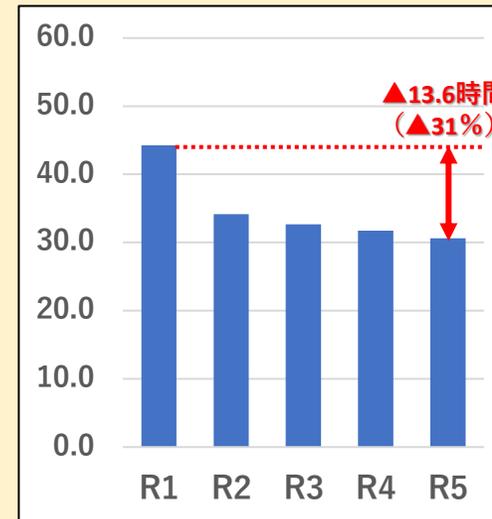


子どもに向き合う時間の確保

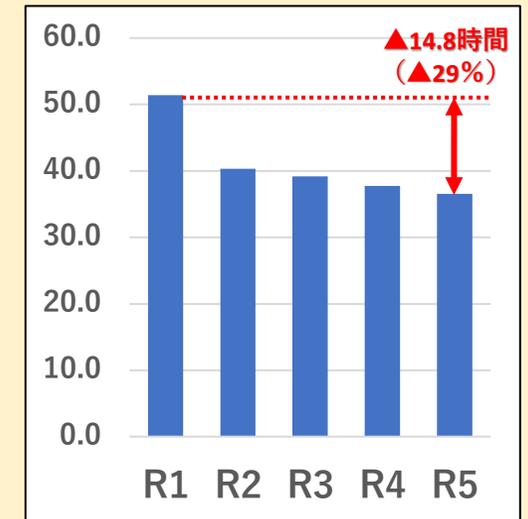
授業準備時間の確保

時間外在校等時間の削減

小学校



中学校



1 現計画の振り返り

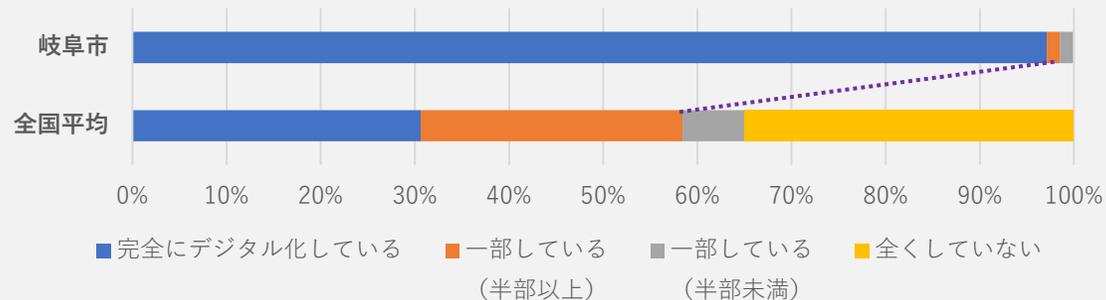
2 教職員の働き方改革

実施状況

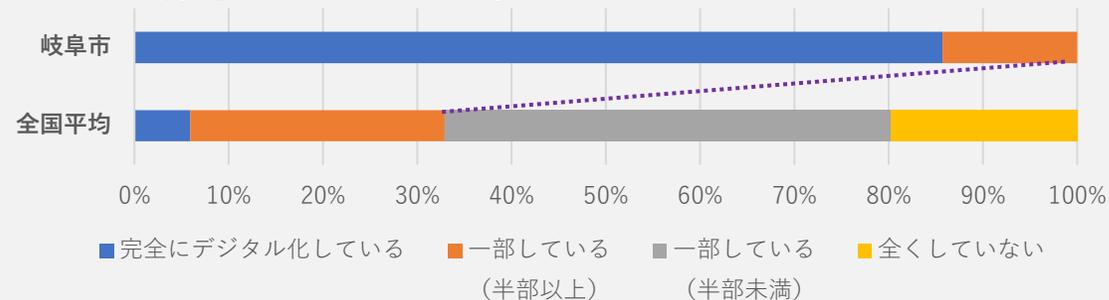
文科省 令和5年度「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果から抜粋

① 教員と保護者間の連絡のデジタル化（市内70校の回答状況）

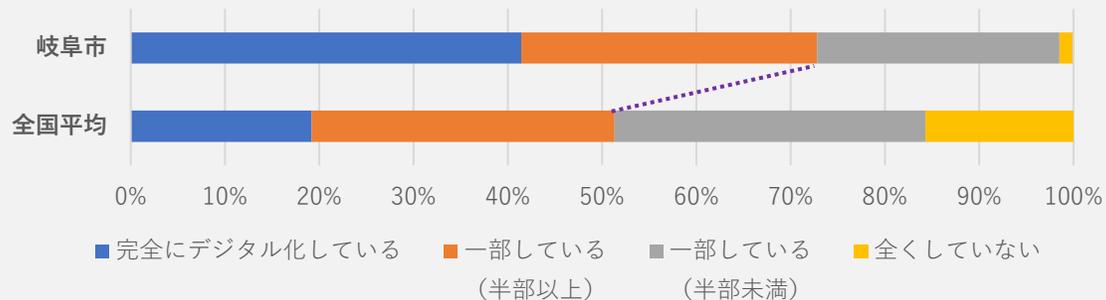
児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、P C・モバイル端末等から受けつけ、学校内で集計していますか。



学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。



保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。



1 現計画の振り返り

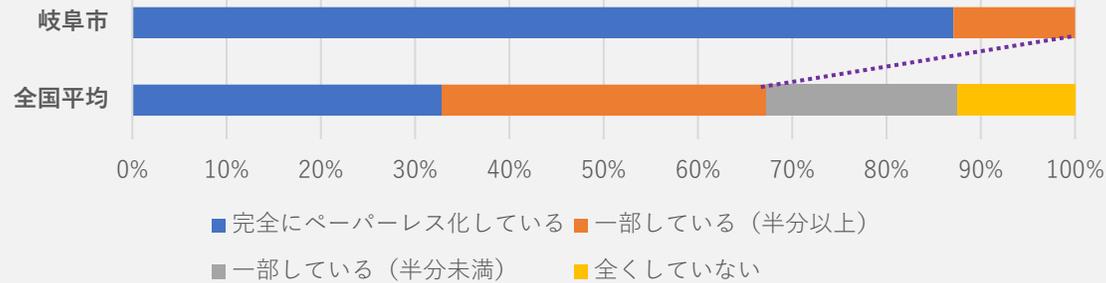
2 教職員の働き方改革

実施状況

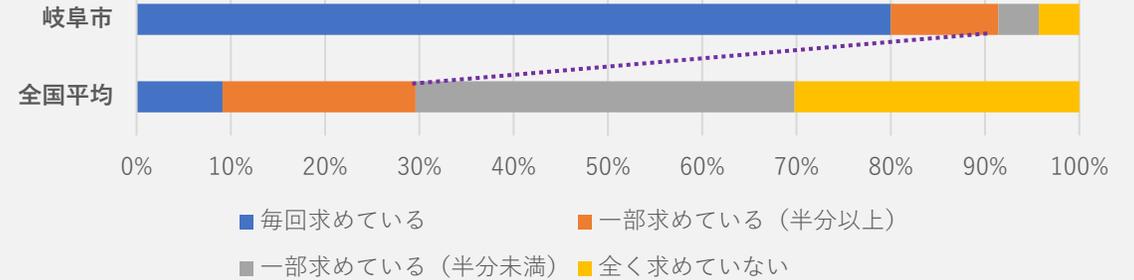
文科省 令和5年度「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果から抜粋

② 学校内の連絡のデジタル化（市内70校の回答状況）

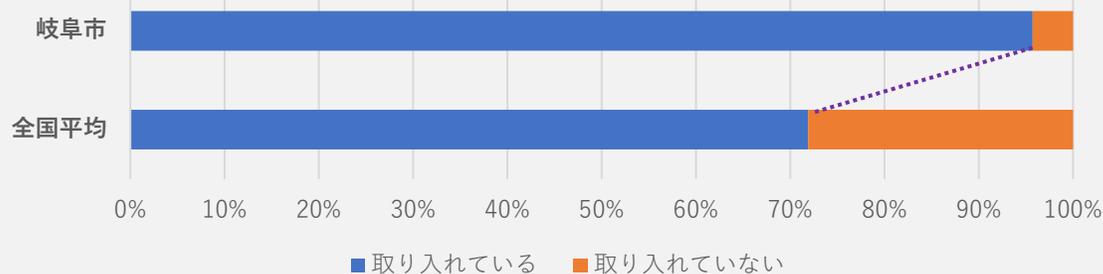
職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。



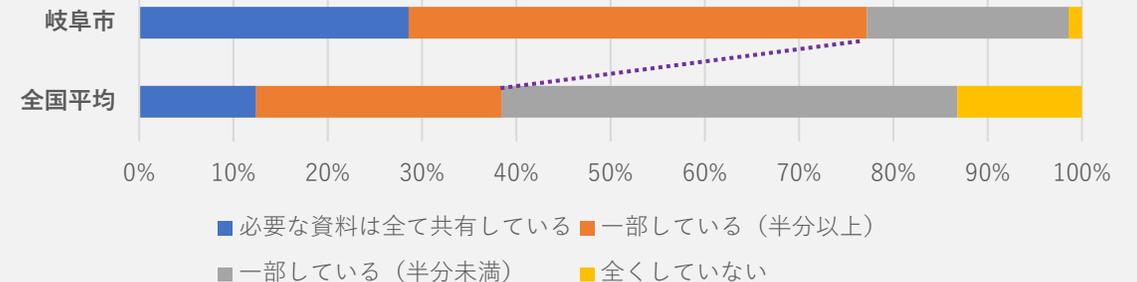
職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。



職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。



教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。



1 現計画の振り返り

2 教職員の働き方改革

課題分析

全国的には高い水準にある

文科省 令和5年度
「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」
に基づく自己点検結果

 **全国 14位**
(1,812自治体(組合)中)

 **政令市・中核市で2位**
(82市中)

一方で

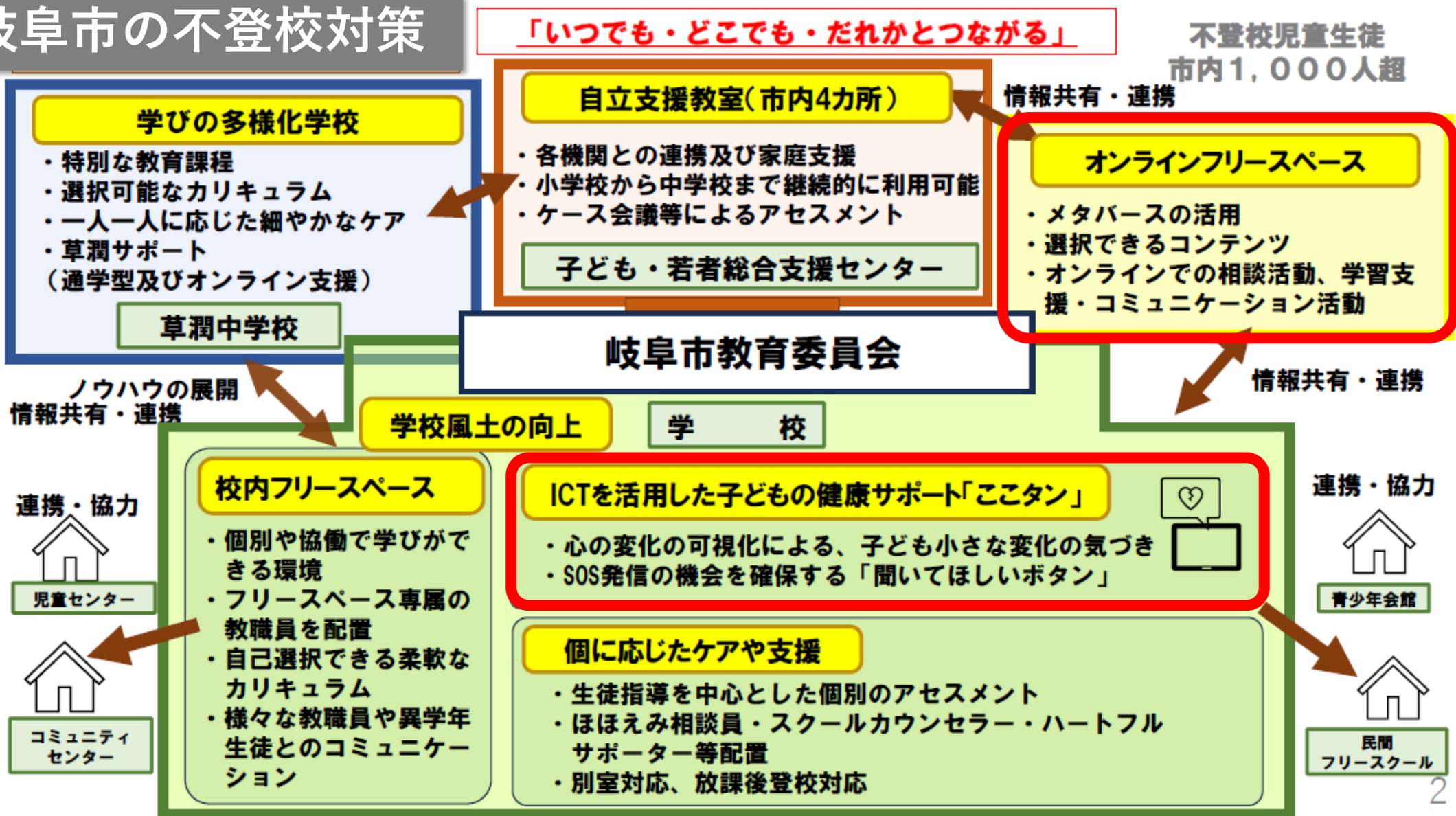
引続き、学校間で取組状況(成果)に格差

同じ校務事務のデジタル化が「完全に」「半分以上」の学校がある一方で「半分未満」の学校がある

1 現計画の振り返り

③ 児童生徒の健康面の配慮

岐阜市の不登校対策

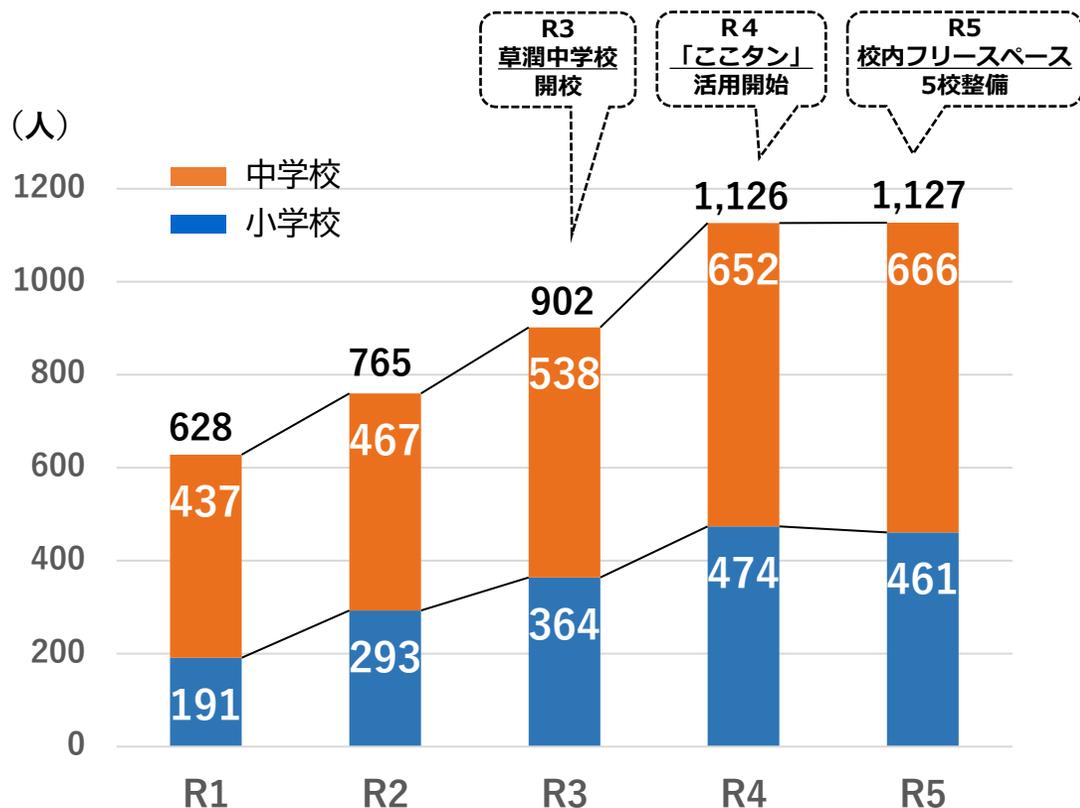


1 現計画の振り返り

③ 児童生徒の健康面の配慮

岐阜市の不登校児童生徒数推移

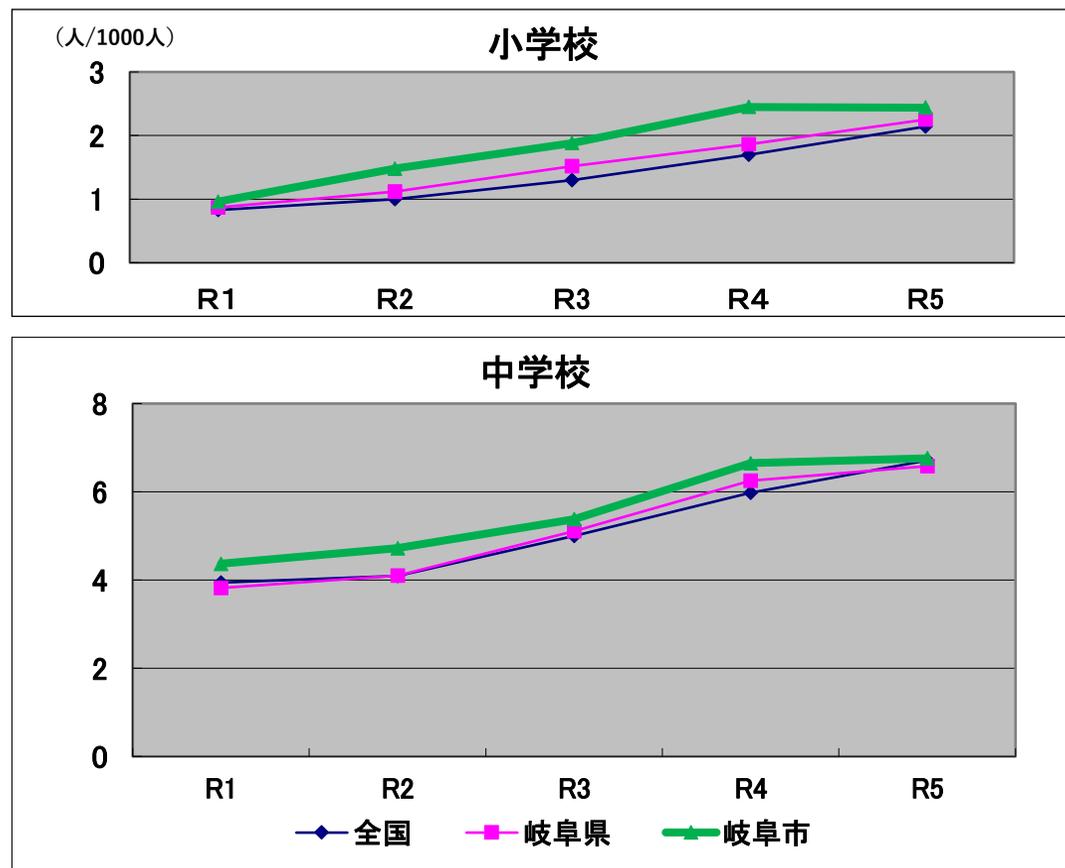
(年間30日以上欠席)



- ✓ 小学校 不登校児童数の減少
- ✓ 中学校 不登校生徒数増加の鈍化

不登校出現率の推移

(年間30日以上欠席)



- ✓ 全国的には年々増加傾向
- ✓ 岐阜市は依然高い出現率

1 現計画の振り返り

③ 児童生徒の健康面の配慮

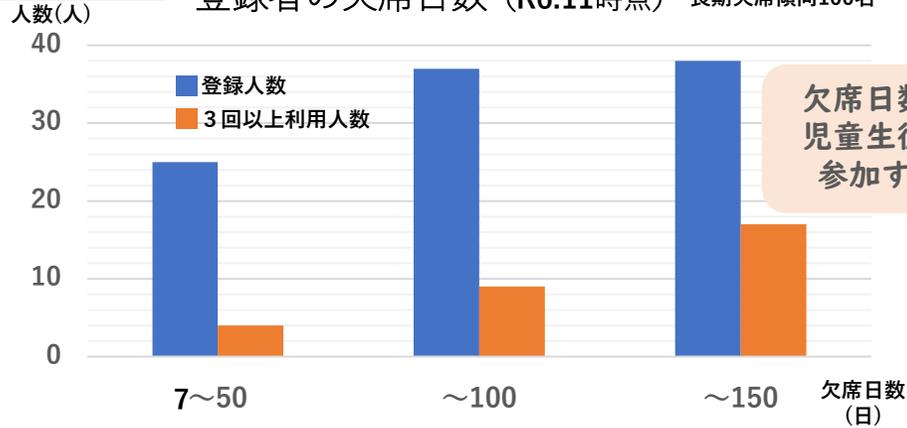
オンラインフリースペース

登録者数・参加者数（12月末現在）

・登録：120名、延べ参加者：332名

利用状況

登録者の欠席日数（R6.11時点） 長期欠席傾向100名

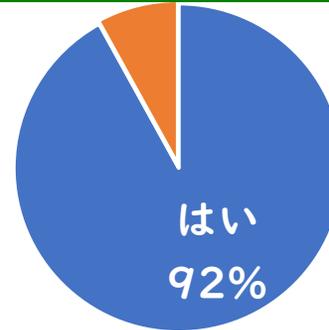


保護者の感想

- 企画をととても楽しみにしています。毎回楽しかった感想を話してくれます。
- とにかく楽しいそうです。忘れて参加できなかったときはすごく悔しがっています。
- 通信制高校の説明などは、自分のこれからを考えるよいきっかけになったそうです。
- △まだ気持ちが追い付いていないようです。
- △あまり興味をもてるものがないようです。

ここタン

ここタンの入力が習慣になっていますか



R5年度より6%UP

ここタンの入力が習慣となっている

「聞いてほしいボタン」をおした人数（R6年4月～11月）

| | |
|-------|------|
| 1回 | 739人 |
| 2～9回 | 375人 |
| 10回以上 | 65人 |

✓1,179人の児童生徒が「聞いてほしいボタン」を活用しSOSを発信

✓9割以上が「ボタンを押してよかった」と回答

成果事例

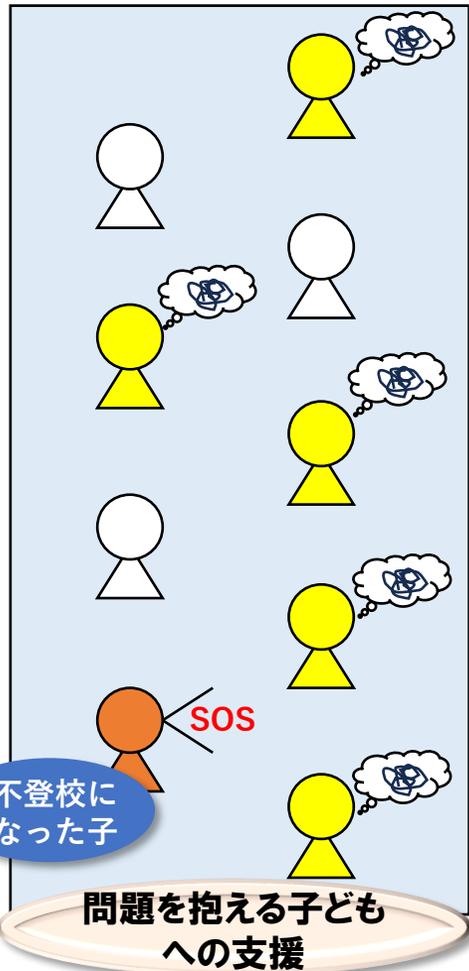
- 聞いてほしいボタンを押したことから親の虐待が発覚
- 「今の気分」の数値の変化に担任が気付き、声をかけたことからいじめが発覚

1 現計画の振り返り

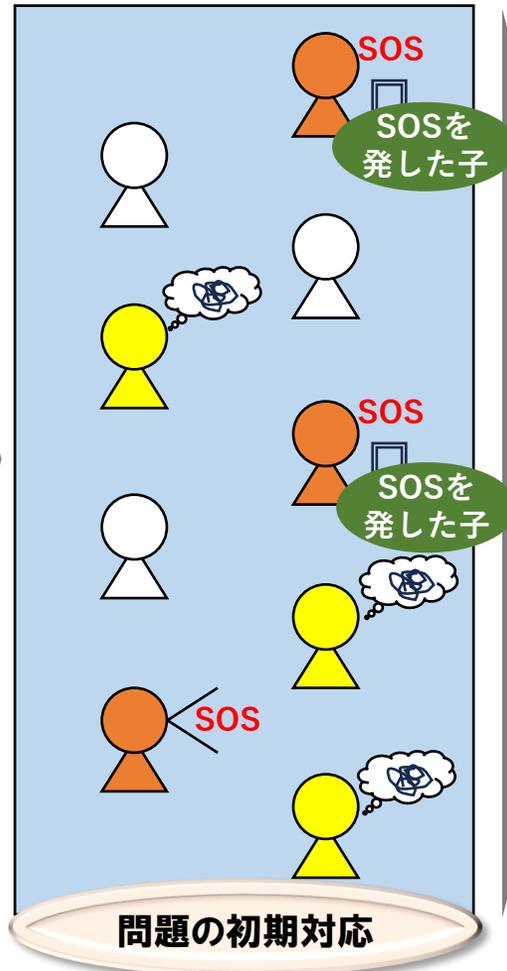
3 児童生徒の健康面の配慮

課題分析

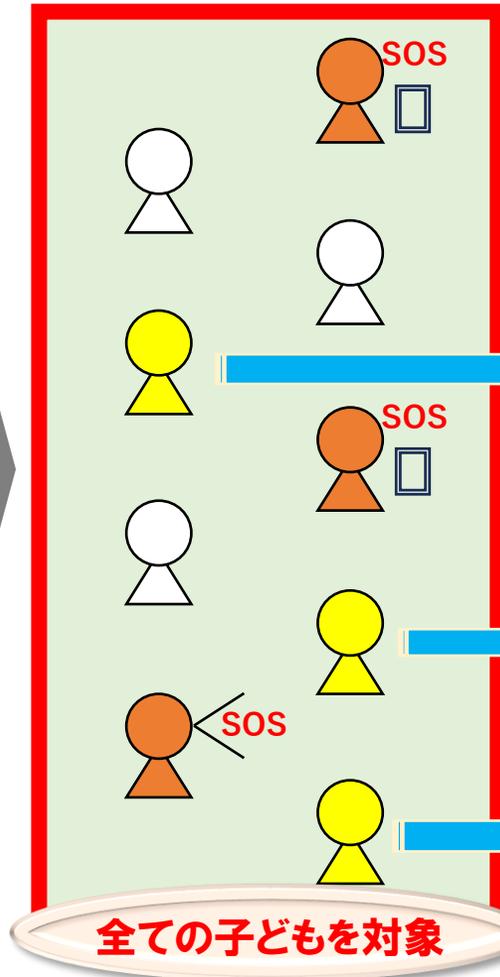
以前



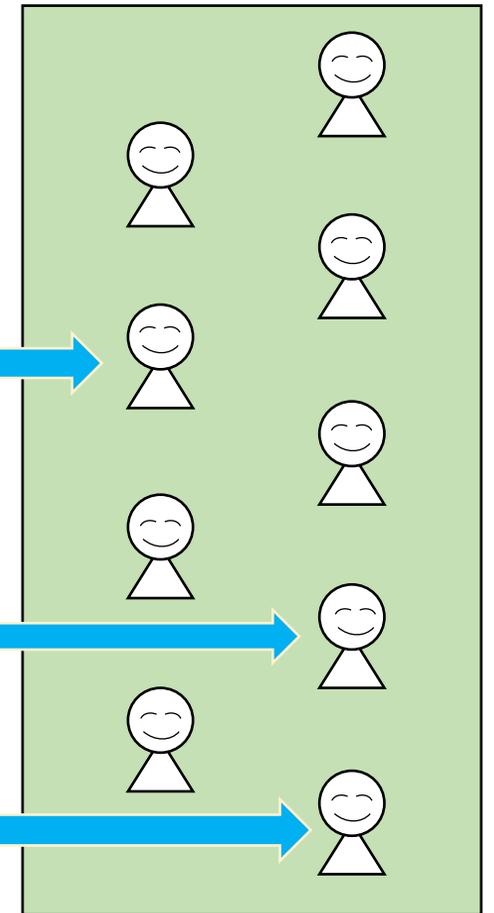
ここタン活用で



予防的施策



目指す姿



これまで（対処療法）

今後（予防）

取組みの全体像

《背景》

課題

【働き方】

教員の多忙／ワークライフバランス充実

【ICT環境】

利便性／情報セキュリティ

デジタル技術の進展

- ・クラウドサービスの充実
- ・新たなセキュリティ対策技術

文科省指針

- ・「情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」改訂
- ・「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」
- ・「学校におけるICT環境整備の在り方に関する有識者会議」
(2022.12設置⇒2025年新指針策定)

《取組対象》

環境整備時期（計画含む）

校務系環境

- ・ **ロケーションフリー環境整備** **R6～7年度**
⇒教職員のワークライフバランスの充実
- ・ **教育ダッシュボード実証** **R6年度～**
⇒エビデンスに基づく指導の充実
- ・ **生成AI実証** **R6年度～**
⇒学びの場面、働き方の場面での有効活用

教室環境

- ・ **全教室大型提示装置更新** **R4～6年度**
- ・ **小規模校つながるプロジェクト環境整備** **R5年度～**

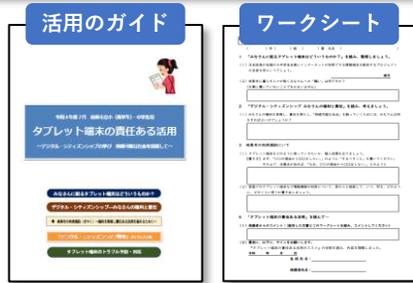
端末・ソフト

- ・ **次期校務パソコン更新** **R6～7年度**
- ・ **次期タブレット端末更新** **R7～8年度**
- ・ **学習系・校務系各種ソフトの評価・見直し** **適宜**

1 現計画の振り返り 5 デジタル人材育成

デジタル・シティズンシップ教育

① 活用ガイド（DC版）による啓発



・より良く使う意識
・保護者の理解
醸成

《主な対応》

「DC教育」を理解する指導案整備 ⇒ 小学校で実証授業
参考授業ビデオ作成 ⇒ 全校展開

「生成AI」に関する文科省ガイドラインに基づき
・児童生徒向け：活用ガイドに追加・周知 ⇒ 中学校で実証授業
・教員向け：ガイドライン整備 ⇒ 周知

「収集データの取扱い」について文科省ガイドラインに基づき
・活用ガイドラインに基本方針明記
・各採用システムの取扱い詳細を別途明示

《今後の見通し》

より充実
児童生徒・保護者への
理解醸成

② 新小1生「GIGAびらき」

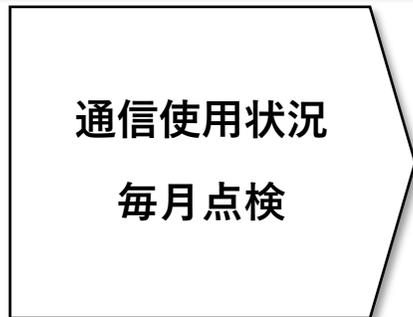


・より良く使う意識
・保護者の理解
醸成

協力大学 **5大学**（令和6年度）
岐阜聖徳学園大学、岐阜大学、岐阜女子大学、中部学院大学、東海学院大学

継続実施
児童・保護者への
理解醸成

③ 過度な通信利用者への対応



技術的対策

人的対策

・フィルタリングソフトの脆弱性対策強化
・深夜帯の通信遮断
・（必要に応じ）保護者によるタブレット端末利用時間帯制限

・全タブレット端末にDC教育に基づく注意喚起の壁紙設定
・過度な通信利用者への聴き取り・必要に応じ指導（保護者とも情報共有）

・毎月中旬時点で一定の通信量を超えた利用者に注意喚起の壁紙配信

継続実施
児童生徒・保護者への
理解醸成

1 現計画の振り返り

2 次期計画の方針

3 各事業の推進方策

2 次期計画の方針

現計画の振り返り まとめ

各方針の取組の成果と課題まとめ

成果

課題

1

誰一人取り残さない
個別最適・協働的な
学びの充実

多層の学校支援や教員間の学び合いの浸透などにより、子どもたち主体の学びが**全国的にも高いレベルで着実に浸透**している

- ・ **活用状況**は、小学校では学年間で、中学校は教科間で**格差傾向**
- ・ 活用率が高い＝子どもが自ら求める探究的な学び（授業のOS改革）ができていないわけではない（**質の課題**）

2

教職員の働き方改革

全校での各施策の積極的な取組により、子どもたちに向き合う**時間の確保**や**時間外在校時間等の削減**が図られている

- ・ 各校のデジタル活用の取組具合により、学校間で**活用状況（成果）に差**がある

3

児童生徒の健康面の配慮

全方位的な取組により、**全ての子どもたちの居場所の提供**が図られてきている

- ・ これまでの対処療法的な観点の取組に加え、**全ての子どもたちを対象とした予防に観点を置いた取組**が課題

4

デジタル環境の最適化

ハード、ソフト共に**環境整備が着実に進んでいる**

- ・ 引き続き、最適な環境整備の着実な実施

5

デジタル人材の育成

デジタル・シティズンシップ教育の浸透が**児童生徒、教員、保護者に拡がりつつある**

- ・ 引き続き、児童生徒、教員、保護者へのデジタル・シティズンシップ教育の理解醸成

NEXT GIGAで求められること

✓ 目指す姿

「岐阜市教育振興基本計画」に基づき、

「子どもたち一人ひとりが自らの可能性を伸ばし、希望あふれる未来を拓く力を育む」

✓ そのために、

各事業が目指す姿の成果を最大化するため、全ての学校・教員が各取組のより一層の質の向上を図る

今後の取組における検討ポイント

「岐阜市教育振興基本計画」に基づく
各取組(リアル)の目指す姿とは？
その中でのデジタルの役割とは？

これまでの取組の評価を踏まえ
✓ 市教委として
✓ 学校として
今後のあるべき姿は？

主な取組

子どもたち主体の学び

(対象：児童生徒・教職員)

安心できる学校づくり

(対象：児童生徒・教職員)

働き方改革

(対象：教職員)

情報活用能力向上

(対象：児童生徒・教職員・保護者)

岐阜市教育振興基本計画

次期岐阜市GIGAスクール推進計画

重点事業

※各事業が目指す姿、推進プラン、達成指標を明確化

1 子ども主体の学びを生み出す
授業のOS改革

目指す姿
推進プラン
達成指標

2 誰もが安心して学べる
学校づくり

目指す姿
推進プラン
達成指標

リアル

×

デジタル

リアルの取組をデジタルでより幅を拡げ深め(リアル×デジタルのベストミックス)
⇒ 各事業が目指す姿の成果を最大化

3 教職員の働き方改革

目指す姿
推進プラン
達成指標

4 情報活用能力の育成

目指す姿
推進プラン
達成指標

学校

●●小学校
学校教育計画

.....

●●中学校
学校教育計画

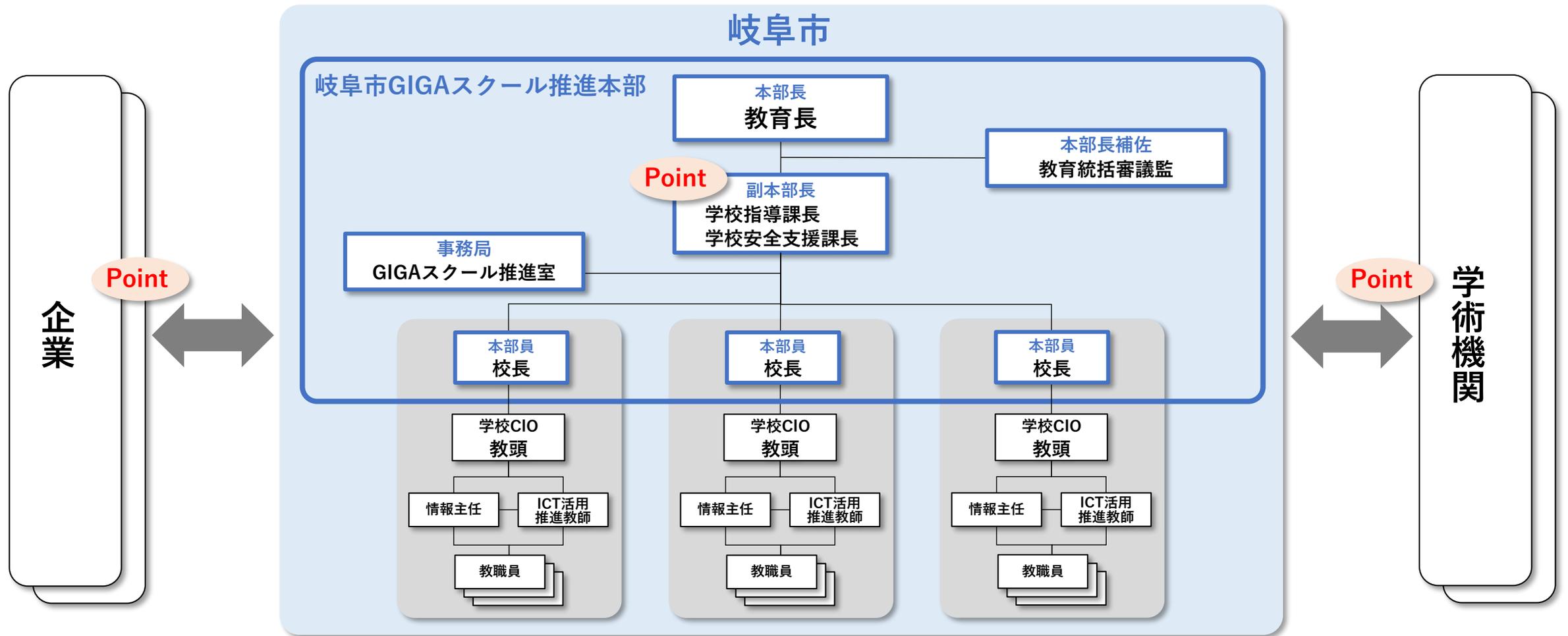
.....

目指す姿

子どもたち一人ひとりが
自らの可能性を伸ばし
希望あふれる未来を拓く力を育む

2 次期計画の方針

次期計画(R7~9年度)の推進体制



- ✓ 教育長を長とし、**市教委事業推進部門**の下、**オール岐阜市学校**で推進
- ✓ **企業や学術機関と連携**し、より有効な施策の推進

1 現計画の振り返り

2 次期計画の方針

3 各事業の推進方策

1 子ども主体の学びを生み出す授業のOS改革

指導観の改革

担当
学校指導課

岐阜市教育振興基本計画 基本目標

- ①一人ひとりのよさが輝き、互いに認め合う心を育む教育
- ②主体的かつ協働的な学びを通じて、未来への礎となる力を育てる教育
- ③その子らしさを生かし、可能性を伸ばす教育
- ④このまちと人から「生きる」を学び、社会参画する力を培う教育
- ⑥新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

目指す姿

- 【児童生徒】 ・ 単元や内容のまとまりにおいて、**自己選択**や**自己調整**を大切にされた問題解決の学習過程をくり返すことで、見方・考え方を豊かにし、自ら求める**探究的な学び**を生み出す児童・生徒
- 【教職員】 ・ 児童・生徒が自ら求める**探究的な学び**を実現するために、単元や内容のまとまりで**複線型を意識した授業**を構想し、自分のペースで学べるための**自己選択**や**自己調整**を促し、児童生徒が**自身の資質・能力の高まりを自覚**できるような支援に徹する教職員

推進プラン

- ・ 新しい授業観、指導観で授業に臨み、変容した観の内容を校内又は市内で共有できるように、**授業のOS改革に関わる研修講座**を設定及び**重点校（授業のOS改革推進校）**を設置する。
- ・ **授業評価改善委員会（教科指導に長けた教員の集まり）**において、**複線型のアウトプット重視の授業**の具体を明確にした**指導計画（コンパスカリキュラム）**や**授業支援ソフトの教材**を作成する。
- ・ **ICTを活用した授業**や**教科横断的な学び**の具体を検討できる**新たな部会**を位置付け、校外研修（市内教職員の研修会）で実践する。
- ・ 喜びと感動をもって探究し続けた子どもの姿や作品など、**参加型で学校の取組を発信**できる**MIRAI'sポータルサイト**を積極的に活用する。
- ・ **教育ダッシュボード**や**採点支援システム**などから得られる**エビデンスに基づく**授業改善や個に応じた指導を充実させる。
- ・ **生成AI**など、**新たなサービスを活用**した学びの更なる充実について検証を進め、情報伝達・共有、会議や研修などで**コミュニケーションツール**を効果的に活用する。
- ・ 以上について、必要に応じ専門的な知見を有する**企業や学術機関と連携**し効果的な推進を図る。

本事業の達成指標

- | | | | |
|--------|-----------------------------------|------------|-------|
| 【児童生徒】 | ・ 選択 した課題、過程、形態で追究 | ・ 「あてはまる」 | } 80% |
| | ・ 単元の学びを見直し 、よりよい学びを実現 | ・ 「あてはまる」 | |
| 【教職員】 | ・ 「複線化」 を意識した授業の実現 | ・ 「実施している」 | |
| | ・ 自分の学習を 俯瞰し、調整して学べる 指導の工夫 | ・ 「実施している」 | |

本事業が目指す姿の成果の最大化に資するデジタル達成指標

- | | | | |
|--------|--|---------------------|-------|
| 【児童生徒】 | ● キーボードタイピング能力 の向上 | 【小:40文字/分、中:60文字/分】 | } 80% |
| | ・ 授業支援ソフトを活用した 他者参照・学びの俯瞰 | ・ 「あてはまる」 | |
| 【教職員】 | ● 週3回以上iPad を活用して 理解度に合わせた利用 を指導 | ・ 「あてはまる」 | |
| | ・ 授業支援ソフトを活用した 他者参照・学びの俯瞰 の指導 | ・ 「実施している」 | |
| | ・ 学習データに基づく指導・授業改善 | ・ 「あてはまる」 | |
- 文部科学省「教育DXに係る当面のKPI」

デジタル活用施策・ツール

授業支援ソフト、学習支援ソフト、コミュニケーションツール、採点支援システム、**生成AI【※】**、**教育ダッシュボード【※】**、**ぎふMIRAI'sポータルサイト【※】**、**iPadの更新【※】**、**キーボードタイピング【※】**

□教育データを可視化・分析し、エビデンスに基づいた個別最適な学びなどを支援するシステム

【※】 新たな取組

② 誰もが安心して学べる学校づくり

担当
学校安全支援課

岐阜市教育振興基本計画 基本目標

- ①一人ひとりのよさが輝き、互いに認め合う心を育む教育
- ②その子らしさを生かし、可能性を伸ばす教育
- ③新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

目指す姿

【児童生徒】・生命の尊厳の理解を前提として、「自由の相互承認」に対する理解を深めることで、自己肯定感を高めるとともに、他者との信頼・協働関係を育みながら、自らの責任において行う選択と行動により幸せに生きる力を身に付ける児童・生徒

【教員】・一人ひとりの子どもとより深く向き合い、温かい対話と空間のある場所、学ぶ喜びに満ちた場所を築く教職員

【家庭地域】・子どもの教育の当事者としての役割と責任を担い、多様な人の繋がりの中で子どもの居場所、挑戦を促す場をつくる家庭・地域

推進プラン

- ・いじめの重大事態を風化させず、いじめ問題の克服に向けて取り組み続ける。
- ・子どもの健康サポートアプリや教育ダッシュボードの活用による子どもたちの変化・SOSへの迅速な対応の日常化を目指す。
- ・草潤サポートと連携し、オンラインフリースペースとリアルな活動を行き来できるようにしていく。（個に応じて、校内フリースペースと連携する。）
- ・草潤サポート担当者、自立支援教室（エールぎふ）担当者、教育委員会不登校担当で、連携会議を行い、不登校児童生徒の情報を共有する。
- ・草潤メソッド「安心できる居場所」「信頼できる大人」「選択と行動」をオンラインフリースペースや校内フリースペースの運営に生かす。特にオンラインフリースペースにおいては「選択と行動」を意識した内容を充実させる。
- ・草潤メソッドを生かした学校風土の指標を明らかにし、学校経営に活かせるようにする。
- ・以上について、必要に応じ専門的な知見を有する企業や学術機関と連携し効果的な推進を図る。

本事業の達成指標

【児童生徒】・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えますか・・・「当てはまる」【100%】
 ・先生や学校にいる大人にいつでも相談できる・・・「当てはまる」【80%】
 ・お互いに協力しながら課題解決に取り組んでいる・・・「当てはまる」【80%】

【教職員】・可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしている・・・「当てはまる」【100%】
 ・ここタン未入力者・ボタン発信時対応、安否確認・・・教師の対応【100%】

【家庭地域】・取組によって学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか・・・「当てはまる」【70%】

本事業が目指す姿の成果の最大化に資する
デジタル達成指標

【児童生徒】・ここタン利用の定着・・・利用率【85%】

【教職員】

- 希望する不登校児童生徒に対する授業配信・・・「できている」
- 特別な支援を要する児童生徒に対する端末を活用した教育相談・・・「できている」
- 端末を活用した学習活動等の支援・・・「できている」
- 外国人児童生徒に対する端末を活用した支援・・・「できている」

100%
%

●文部科学省「教育DXに係る当面のKPI」

デジタル活用施策・ツール

子どもの健康サポートアプリ、オンラインフリースペース、コミュニケーションツール、**教育ダッシュボード【※】**、**学校風土の向上【※】**

【※】新たな取組

□学校の券別割について、児童生徒が無記名でアンケート調査に回答し、科学的により適切に評価することで、いじめ、不登校などの予防や学力向上を目指す取り組み

3 教職員の働き方改革

担当
学校指導課

岐阜市教育振興基本計画 基本目標

- ⑤子どもに深く向き合う、あたたかさや働きがいにあふれる学校・園づくり
- ⑥新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

目指す姿

- ・ 自らの働き方を見直し、心身ともに健康で働きがいをもてる教職員
- ・ 日々の生活の質や教職人生を豊かにし、自らの人間性や創造性を高められる教職員
- ・ 授業を磨くとともに、子どもたちと元気に笑顔でかわり、子どもたちに対して効果的な教育活動ができる教職員

推進プラン

- 「岐阜市 教職員サポートプラン」に基づき、職場環境と困り感ある職員をサポート
- ・ 現場のニーズに応じた研修の実施…学級経営・生徒指導・教科指導・デジタル活用・職員の人間関係づくり・組織マネジメント・ハラスメント防止など
 - ・ 多忙化解消に向けた取組の推進
 - ・ 人的配置によるサポート……スクールロイヤーの活用、ハートフルサポーター・ティーチャースクール、サポート・スタッフの充実の配置など
 - ・ 物的環境整備によるサポート……働きがいに繋げる教育DXの推進
 - 新校務パソコンの効果的な活用とロケーションフリーの環境や次世代校務システムを活用したワークスタイルの変革
 - ・ コミュニケーションツールや授業支援ソフトを活用した教職員の良好なコミュニケーション
 - ・ 学校と保護者間の連絡アプリや採点支援システムを徹底活用した事務負担軽減
 - ・ 生成AIの活用（業務の効率化、教職員の創造性を高める活用方法について検証）
 - ・ 事業や取組等の見直しによるサポート…ストレスチェックの実施、夏季休業期間における学校閉庁日の設定、各校・教育委員会における実践の共有と改善など
 - ・ 以上について、必要に応じ専門的な知見を有する企業や学術機関と連携し効果的な推進を図る。

本事業の達成指標

- ・ 組織や自身の働き方 …… 「改善している」
 - ・ ワークライフバランス …… 「充実している」
 - ・ 教材研究に向き合う時間 …… 「確保できている」
 - ・ 子どもたちに向き合う時間 …… 「確保できている」
- 80%

本事業が目指す姿の成果の最大化に資する デジタル達成指標

- 必要に応じ効果的なロケーションフリーでの校務処理 …… 「行っている」
 - ・ 校内の連絡・会議等のデジタル活用による校務の効率化 …… 「できている」
 - ・ 保護者間連絡のデジタル活用による校務の効率化 …… 「できている」
 - ・ 採点事務のデジタル活用による校務の効率化（中学校） …… 「できている」
- 100%

●文部科学省「教育DXに係る当面のKPI」

デジタル 活用施策・ツール

学校と保護者間連絡アプリ、採点支援ソフト、コミュニケーションツール、授業支援ソフト、出退勤管理システム、
生成AI【※】、次世代校務システム【※】、□児童生徒情報、教職員情報、出欠席管理、成績管理、健康管理など校務に係る事務を管理するシステム
ロケーションフリー【※】□ICT環境のフルクラウド化により、校内のみならず外出先や自宅などどこでも校務パソコンで校務ができる環境

【※】新たな取組

4 情報活用能力[※]の育成

※デジタル・シティズンシップ教育と情報保護以外の内容は、各関係事業①～③側に記載

担当
学校指導課
学校安全支援課

岐阜市教育振興基本計画 基本目標

②主体的かつ協働的な学びを通じて、未来への礎となる力を育てる教育

⑦子どもも大人も共に学び支え合う、家庭・地域の教育力の向上

⑥新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

| | |
|------|---|
| 目指す姿 | <p>【教職員】 ・ 児童生徒が<u>デジタルの善き使い手</u>となるよう、主体的に<u>デジタル・シティズンシップ教育（以下、DC教育）の意識を醸成</u>する。 ・ 教育現場のあらゆる情報について<u>適切に情報を保護（収集データの取扱い、個人情報保護など）する意識</u>を高め、規定に沿って<u>適正に取扱う</u>。</p> <p>【児童生徒】 ・ <u>DC教育の考えを理解し、行動に移す</u>とともに、仲間や家族と<u>情報共有</u>して、よりよいデジタル活用をする。 ・ DC教育に基づき、<u>SNSの適切な活用や情報保護（個人情報保護、著作権など）について理解</u>し、状況に応じて<u>適正に取扱う</u>。 ・ 発達段階に応じた基本的な情報活用スキルを身に付ける。</p> <p>【保護者】 ・ <u>DC教育の考えを理解し、</u>子どものデジタル機器のよりよい使い方について、<u>子どもの実態に応じて家庭で話し合う</u>。</p> |
|------|---|

| | |
|-------|---|
| 推進プラン | <ul style="list-style-type: none"> 経年研修及び職務研修、教育課程研究協議会等において、DC教育と共に<u>情報保護に関することの研修内容の充実</u> <u>全教育活動（GIGAびらき（小学1年生へのタブレット端末貸与式）やデジタルを利用した子ども同士のトラブルなど含む）</u>を通じたDC教育の意識を醸成する <u>授業展開の推進</u> <u>学年の発達段階に応じたDC教育の内容の検討とDC教育の教材作成</u> 著作権、肖像権等の<u>情報保護</u>について、<u>教頭を中心とした教員の校内研修の資料作成及び校内研修の実施</u> <u>保護者に対して、懇談会やGIGAびらき等様々な機会を通じDC教育の理解と啓発</u> 以上について、必要に応じ専門的な知見を有する<u>企業や学術機関と連携</u>し効果的な推進を図る。 |
|-------|---|

本事業の達成指標

| | | |
|--------|---|--------|
| 【教職員】 | ・ <u>適切な情報保護</u> を意識し、 <u>適正な取扱い</u> ・・・・・・・・・・「取扱っている」（100%） ・ デジタル機器のよりよい使い方（ <u>健康面含む</u> ）の指導や支援・・・・・・・・「充実している」 | } 95 % |
| 【児童生徒】 | ・ デジタル機器を利用する際のよりよい使い方（ <u>健康面含む</u> ）・・・・・・・・「考えている」 ・ <u>SNSの適切な活用</u> や <u>情報保護の正しい理解と適正な取扱い</u> （高学年）・・「できている」 | |
| 【保護者】 | ・ ICT機器のよりよい使い方についての <u>話し合い</u> （年間1回以上）・・・・・・・・「できている」 | |

本事業が目指す姿の成果の最大化に資するデジタル達成指標

| | | |
|--------|--|---------|
| 【教職員】 | ・ 情報活用の基盤となる知識や態度について <u>指導する能力</u> ・・・・・・・・「できている」 ・ <u>DC教育を意識したGIGAびらきや全教育活動</u> での指導・・・・・・・・「できている」 ・ <u>セキュリティ研修の実施と岐阜市のセキュリティポリシーの理解</u> ・・「できている」 | } 100 % |
| 【児童生徒】 | ・ 日頃から <u>DC教育を意識</u> したデジタル機器の取扱い・・・・・・・・「できている」 | |

デジタル活用施策・ツール

デジタル・シティズンシップ教育、SNS活用、
□デジタル社会における「善き社会の担い手」を目指し、若者が効果的なデジタル・シティズンになるために必要な能力を身に付けることを目的とした教育 参考：欧州評議会による『デジタル・シティズンシップ教育研修資料』より
情報保護(収集データの取扱い、個人情報保護、セキュリティ対策、著作権・肖像権保護) 【※】

【※】新たな取組